

が、この取組は来年度、そして未来へつなぐ素晴らしい企画だと思いますので、意欲的な参加を期待したいと思います。

ここでは、個人的な思い、もし自分が東中生だったらという観点で話します。弾く人が少ないという問題点は、その背景にそもそも弾ける人が少ないという事実があります。私自身も弾けません。でも、純粋に、「ピアノが弾ける人ってすごい！」と思っています。自分も弾けたらいいなと思います。心の中では、難しそうだけど、簡単な曲でもいいから弾けるようになりたいという願いもあります。だから、もし、「ピアノが弾けるようになりたい！」と思っている人たちがチームを組めば、プレイエルで練習したり、できるようになった成果を発表したりすることで、いのちを未来へつなぐことに貢献できるのではないかと考えています。

そう考えると、東中には山岸右京さんが寄贈してくださったプレイエルを含む3台のピアノと併せて全部で6台のピアノがあり、練習環境としては最適。先生、保護者、地域の方、山本貴志さんの演奏会で来校してくれた日本ショパン協会長野支部のピアニストや さんに相談して、教えてくれる人を探すという手もありそうです。個人的には、ビートルズの「Let it be」やジョン・レノンの「イマジン」を弾き語りできたらいいなと思っていますが、YouTubeを検索したら、初心者向けの弾き方動画があることがわかったので、参考にできそうだと思います。こんな動画です。(動画再生) 弾けるようになったらミニコンサートを開いたり、東祭で発表したりできそうです。教えてくれた方に出演してもらってもいいですね。自分で弾くことから離れますが、PTAの皆さんにも、プレイエルの伴奏でコーラスをしてもらえれば、親子でプレイエルを未来へつなぐことができそうです。弾く人が少ない、弾ける人が少ないという問題は弾ける人を増やすことで解決できるのではないのでしょうか。

さて、「維持・管理」の問題に対しては、「まだ直っていないところを修理したい」「環境が整ったところに置きたい」「活動の様子を展示し、楽譜も一緒に置きたい」「定期的に調律する必要がある」「メンテナンス費用を調達する必要がある」などの意見がありました。先日、 さんが来校し、プレイエルの様子を確認していただきました。「脚」が一番心配だと言っていました。

「移動する時の段差に注意してほしい」「何か良い解決策がないか考えてみます」と言ってくださいまし

たが、一緒に解決策を考えたいものです。なにしろ100歳のお年寄りです。今回は、演奏ができるところまでは修復しましたが、ゆくゆくは、この先どうしていくのかも考えなければなりません。併せて、山本さんの演奏会は、大きな反響があったとお聞きしました。また、何よりも「東中の合唱がすごい」と評判になっているとのこと。

「小さな学校の大きな合唱」が、学校外の人たちにも伝わっていることを知り、とてもうれしくなりました。

置き場所や環境については、美術「東中をリノベーションしよう」の中で、プレイエルや村田陽子さんからいただいた絵について考えてくれている3年生がいます。「今の場所」「以前の階段下」「2階ロビー」に「プレイエルコーナーを設置する」とか、「プレイエル記念館を設置する」というアイデアがあるようです。在校生の皆さんに提案を残してくれると思うので、それを参考にしながら「どこに」「どんなふうに」設置するか追究するのも楽しそうですね。

費用に関わることにについて触れたいと思います。東祭直前の段階では、寄附や売上による資金集めは、100万円を少し欠ける金額でした。その後の収入や支出も含めて皆さんにお知らせします。寄附・売上げによる最終的な収入は、2,384,850円になりました。予想を遙かに超える金額で、びっくりしますね。協力いただいた方々に改めて感謝しましょう。そこから、演奏会、修理・調律、パンフレット等の費用として、総額999,580円を支出しました。差引残高は、1,385,270円です。これは、「プレイエルにのちを吹き込む」ための資金集めの結果ですから、今後も「プレイエル」のために使っていくお金です。このことを踏まえると、現時点でこんなことを考えられそうです。「来年度もプロのピアニストを呼べるかもしれない」「定期的な調律費用に充てられる」「修繕費用に充てられる」「お金は使えば減っていくので、例えば学校外の方にプレイエルを開放し、その際、プレイエル募金のような形で維持・管理に協力してい

1/24 (火) さん来校

- ・音は大丈夫。
- ・脚が心配 ⇒ 移動時は段差に注意！
⇒ 良い方法を考えます。
- ・100歳のお年寄り ⇒ 無理はきかない
- ・いつでも相談してください。
- ・演奏会は大きな反響があった。
- ・東中の合唱がすごいと評判。

3年美術「東中をリノベーションしよう」

- ・少ない授業時間の中で、いろいろなアイデア
- ・提案を残してくれる
- ☆プレイエル、寄贈された絵について
プレイエルコーナーの設置
⇒今の場所、階段下、2階ロビー
プレイエル記念館の設置

集めた資金は？

収入	金額
寄附・売上合計	2,384,850
支出	金額
支出合計	999,580
演奏会 通信費等	修理・調律 移動用キヤスター パンフレット
差引	金額
収入ー支出	1,385,270

- ・プロのピアニストの演奏会もできそう
- ・定期的な調律費用に充てられる。
- ・破損した時の修繕費に充てられる。
⇒ 破損内容・程度にもよる.....
- ・学校外の方にもプレイエルを開放し、プレイエル募金のような形で協力をお願いすればすることも考えられそう。

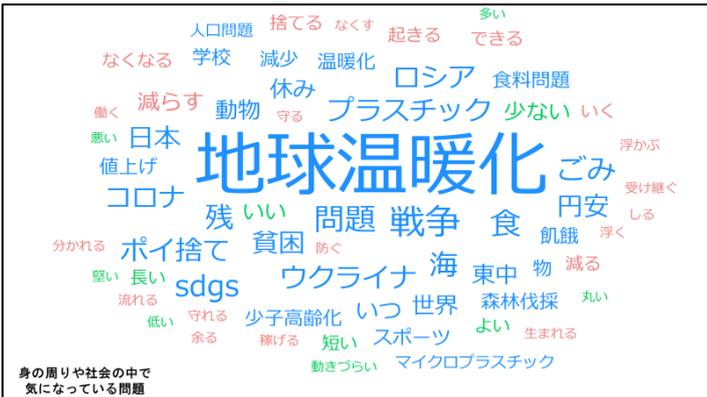
ただく」これは、あくまでも私の思いつきの一例です。皆さん自身で、具体化してください。柔軟なアイデア、そして、地域を含めた社会の様々な人々と結びつきながら追究できれば、「プレイエルのいのちを未来へつなぐ」学びは、持続可能な広がり・深まりが期待できそうです。

でも、「未来へつなぐ」学びは、プレイエルに限定されるわけではありません。これは、「身の回りや社会の中で気になっている問題」について寄せられた皆さんの意見です。真ん中に大きく「地球温暖化」とあり、その他にも私たちのいのちや地球環境に関わる様々なキーワードがあります。そして、気になっている問題について「疑問、調べたいこと、取り組みたいこと」のキーワードがこれです。「できる」「減らす」「考える」「調べる」「活動」が目に入ります。さらに、キーワードの繋がりを見ると、「ウクライナ・ロシア・戦争・理由」「ゴミ・捨てる」「残食・減らす」「プラスチック・生き物・絶滅」「地球温暖化・ゴミ」「SDGs・学校・地域・取り組み・広げる・行う」「自分たち・作る・使う・育てる」)「具体・対策」とあります。

皆さんの意識には、SDGsにつながる問題や取り組みたいことが沢山あることがわかりました。持続可能な社会の実現を目指すことは、「未来へつなぐ」学びそのものだと言えます。このことに関わって、長野SDGsプロジェクト実行委員会を運営している「ながのアド・ビューロ」さんから、ぜひ東中の取り組みに協力したいとの申し出をいただいています。「ながのアド・ビューロ」さんには、東祭の生徒会企画の際、来校いただきましたし、プレイエルの時にもいくつかのグループにアドバイスをいただくなど、ご協力いただいています。また、長野SDGsプロジェクトのホームページにも、プレイエルの取り組みとパンフレットを掲載していただきました。「ながのアド・ビューロ」と連携することで、皆さんが探究したいSDGsに関する活動に、長野SDGsプロジェクトの参加企業からも協力が得られるかもしれません。皆さん次第で、社会を巻き込んだダイナミックな活動を展開できる可能性がある

皆さんの柔軟なアイデアで、社会と結びつきながら「やってみたいこと」を追究すれば、「プレイエルのいのち」を「未来へつなぐ」学びは、**持続可能な**広がりと深まりが期待できそう。

でも、「未来へつなぐ」学びは、プレイエルに限定されない。



- ・SDGsに寄せた問題意識、取り組みたいことが沢山
- ・持続可能な社会を目指すことは、「未来へつなぐ」学びそのもの。
- ・長野SDGsプロジェクト実行委員会を運営している「ながのアド・ビューロ」さんからも協力の申し出が。

ので、問いやアイデアを温めてください。

みなさんの疑問の中には、このような問いもありました。「東中のホームページに『昭和63年 東中音頭できる』とあるが、東中音頭とは何か？」東中の歴史を誰よりも知っているつもりでしたが、これは見落としていました。調べると確かに「東中音頭」はありました。詳しいことは、昭和63年度の生徒会誌「あずま山岳」で確かめてください。司書室、校長室にあります。この問いは、いのちを吹き込み未来へつなぐ探究の始まりを予感させてくれます。

ここで、持続可能をキーワードとした、今、東中で行っているSDGsの活動の原点に触れておきたいと思います。これは、9月の校長講話で皆さんに配信した「お宝マップ」です。そして、同時に「お宝博士」検定をフォームで実施しました。ここで、遅ればせながら、「お宝博士」に認定された皆さんを紹介します。

さん、さん、同じくさん、さんの4名です。

おめでとう。まだ検定は受付中です。認定されていない皆さんは、端末を持ちながら校内を探索してチャレンジしてください。

本題に戻しますが、検定の中にこの問題がありました。記念碑「コスモス街道への私たちの願い」。地図では、この場所にあります。これは、50周年記念誌です。その中に平成12年度のページがあります。平成12年度、コスモス街道が4つの賞をいただいたのです。その一つが、全国花いっぱいコンクール環境庁長官賞の受賞です。それを記念して記念碑を建立したのです。記念碑の下には、コスモス街道への願いを書いた石盤が埋められました。平成5年に始まったコスモス街道の取り組みは、7年後の平成12年度に大きな賞を複数受賞し、その後も受け継がれました。そして



「ながのアド・ビューロ」さんには、プレイエルのクイズ・パンフレットづくり、チラシづくりでもご協力いただきました。



「お宝博士」認定者 1-さん 3-さん 3-さん 3-さん



